

平成23年度

事業計画書
収支予算書

2011年度 事業計画 (1)

第 43 回(2011 年度) 内藤記念科学振興賞候補者推薦要領

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-----------------|-------------|---------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|---------------|-----------------|-----------|-----------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|-------------|-------------|
| 趣 旨 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対してほう賞を授与するものである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 候補者資格 | 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。 2) 候補者は単独とするが、異なる研究グループによる共同研究の場合には、連名であっても良い。 3) 候補者の再度の推薦は差支えない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推 薦 者 | 1) 下記 27 学会の代表者 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">高 分 子 学 会</td> <td style="width: 33%;">日 本 獣 医 学 会</td> <td style="width: 33%;">日 本 農 芸 化 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 遺 伝 学 会</td> <td>日 本 植 物 生 理 学 会</td> <td>日 本 発 生 生 物 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 ウ イ ル ス 学 会</td> <td>日 本 神 經 科 学 学 会</td> <td>日 本 ビ タ ミ ン 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会</td> <td>日 本 神 經 化 学 会</td> <td>日 本 病 理 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 解 剖 学 会</td> <td>日 本 生 化 学 会</td> <td>日 本 物 理 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 化 学 会</td> <td>日 本 生 物 工 学 会</td> <td>日 本 分 子 生 物 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 癌 学 会</td> <td>日 本 生 物 物 理 学 会</td> <td>日 本 免 疫 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 細 菌 学 会</td> <td>日 本 生 理 学 会</td> <td>日 本 薬 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 細 胞 生 物 学 会</td> <td>日 本 動 物 学 会</td> <td>日 本 薬 理 学 会</td> </tr> </table> 2) 当財団の理事、監事および評議員 推薦件数は、1 推薦者につき 1 件 | 高 分 子 学 会 | 日 本 獣 医 学 会 | 日 本 農 芸 化 学 会 | 日 本 遺 伝 学 会 | 日 本 植 物 生 理 学 会 | 日 本 発 生 生 物 学 会 | 日 本 ウ イ ル ス 学 会 | 日 本 神 經 科 学 学 会 | 日 本 ビ タ ミ ン 学 会 | 日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会 | 日 本 神 經 化 学 会 | 日 本 病 理 学 会 | 日 本 解 剖 学 会 | 日 本 生 化 学 会 | 日 本 物 理 学 会 | 日 本 化 学 会 | 日 本 生 物 工 学 会 | 日 本 分 子 生 物 学 会 | 日 本 癌 学 会 | 日 本 生 物 物 理 学 会 | 日 本 免 疫 学 会 | 日 本 細 菌 学 会 | 日 本 生 理 学 会 | 日 本 薬 学 会 | 日 本 細 胞 生 物 学 会 | 日 本 動 物 学 会 | 日 本 薬 理 学 会 |
| 高 分 子 学 会 | 日 本 獣 医 学 会 | 日 本 農 芸 化 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 遺 伝 学 会 | 日 本 植 物 生 理 学 会 | 日 本 発 生 生 物 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 ウ イ ル ス 学 会 | 日 本 神 經 科 学 学 会 | 日 本 ビ タ ミ ン 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会 | 日 本 神 經 化 学 会 | 日 本 病 理 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 解 剖 学 会 | 日 本 生 化 学 会 | 日 本 物 理 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 化 学 会 | 日 本 生 物 工 学 会 | 日 本 分 子 生 物 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 癌 学 会 | 日 本 生 物 物 理 学 会 | 日 本 免 疫 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 細 菌 学 会 | 日 本 生 理 学 会 | 日 本 薬 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 細 胞 生 物 学 会 | 日 本 動 物 学 会 | 日 本 薬 理 学 会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推 薦 方 法 | 当財団ホームページ「助成金事業」に記載の手順に従い推薦する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 締 切 日 | 2011 年 10 月 3 日 (月) 財団必着 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選 考 方 法 | 選考委員会で審査し、理事会で決定する。 採否の結果は、2012 年 2 月に候補者および推薦者に通知する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 贈呈式・顕彰 | 受賞者夫妻は 2012 年 3 月 19 日 (月) に行う贈呈式に出席いただきます。受賞者には内藤記念科学振興賞<正賞：金メダル、副賞：1,000 万円>を贈呈する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| そ の 他 | 1) 学会推薦の場合は、学会の公印を捺印する。 2) 当財団の理事、監事または評議員推薦の場合は、私印を捺印する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団**
 113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 NKD ビル 8 階
 TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917
 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2011年度 事業計画 (2)

| | 第 43 回 内藤記念科学奨励金(研究助成) | 第 1 回 内藤記念科学奨励金(若手ステップアップ研究助成) |
|--------------------|---|---|
| 趣 旨 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に対し、研究費の一部を補助するものである。 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎研究に携わる若手研究者に対し、科学奨励金(研究助成)を終了した研究テーマの中から、将来有望なものを選抜し、研究費の一部を継続的に補助するものである。 |
| 申 請 者 資 格 | 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者(年齢制限は無い) 2) 当財団の選考委員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/)と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。 3) 本助成金を受領した3年未満の研究者(2008～2010年度受領者)は、申請することができない。 4) 海外で行う研究は対象外とする。 | 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者であること。 2) 過去の科学奨励金(研究助成)の受領者であること。 3) 1971年4月1日以降に出生の者(満40歳以下) 4) 科学奨励金(研究助成)申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマに基づく申請であること。 5) 当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者であっても、申請することができる。 6) 海外で行う研究は対象外とする。 7) 内藤記念科学奨励金(研究助成)及び内藤記念女性研究者研究助成金と同時に申請することはできない。 |
| 推 薦 者 | ※ 財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④⑤⑥以外の大学組織(研究センター、研究施設等)：学長 ただし、同一専攻の研究科(大学院)と学部(大学)の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注) センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者(※該当する研究機関には関連書類を送付しています) 3) 当財団の理事・監事及び評議員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/) | ※ 財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④⑤⑥以外の大学組織(研究センター、研究施設等)：学長 注) センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者(※該当する研究機関には関連書類を送付しています) 3) 当財団の理事・監事及び評議員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/) 4) 科学奨励金(研究助成)採択時の推薦者と同一の推薦者である必要はない。 |
| | 推薦件数：1 推薦者につき1件 | 推薦件数：1 推薦者につき複数の推薦可 |
| 申 請 方 法 | 推薦者が1)、2)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 (※3)の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い) 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。 | |
| 締 切 日 | 2011年6月1日(水) (財団必着) | |
| 選 考 方 法 採 択 件 数 | 選考委員会で審査し、理事会で決定する。 | 第1回選考委員会での審査によりヒアリング対象者を選考し、ヒアリング対象者のみに書面で通知します。 ヒアリング選考は8月26日(金)に実施予定です。第2回選考委員会で審査し、理事会で決定する。 選考は以下のポイントから行う。 1. 当財団からの助成期間中、ならびに終了後の科学奨励金(研究助成)申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマの研究進捗実績 2. 今後の3～4年間に研究をどのように発展させるかについての展望 3. 研究テーマの独創性について 4. 他の競合的研究資金の取得状況 |
| | 採択件数：80件 | 採択件数：3件以内 |
| | 採否の結果は、2011年10月に申請者および推薦者に通知する。 | 採否の結果は、2012年2月に申請者および推薦者に通知する。 |
| 助 成 額 送 金 時 期 | 300万円 2011年12月 | 助成金額は、3年間で総額1,000万円以内とする。 1年目：2012年3月 2年目：2013年3月 3年目：2014年3月 |
| 報 告 の 義 務 | 1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2013年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部送付する。 | 1) 研究成果報告書及び使途報告書について：1年目 2013年9月末日、2年目 2014年9月末日、3年目 2015年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部送付する。 |

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法(平成15年5月30日法律第57号)をはじめとする各種関連法規・ガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページに掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記入された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階
 TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2011年度 事業計画 (3)

| | 第 6 回 内藤記念女性研究者研究助成金 | 第 43 回 内藤記念海外学者招へい助成金 | 第 28 回 内藤記念海外研究留学助成金 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|---|--|-------------|--------------------------------|----|---------------------------------|----|--|----|-----------|----|----------|----|----------------------|
| 趣 旨 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を上げることがを支援する目的で、研究に必要な経費を補助するものである。 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助するものである。 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行うために、若手研究者が海外の大学等研究機関に長期間留学する渡航費、留学に伴う経費ならびに研究費を補助するものである。我が国の自然科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とする。 | | | | | | | | | | | | |
| 申請者資格 | 1) 自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる一定以上の研究実績をあげた博士号を持つ研究者 2) 出産日から職場復帰（予定日）までが 60 ヶ月以内の女性研究者 ① 今後職場復帰する場合 復帰日と復帰場所が明確になっていること。 ② 応募以前に職場復帰している場合 出産日から助成金締切日までが 60 ヶ月以内であれば応募することができる。 3) 当財団以外から同期間（申請年度を含む助成期間（2011 年度～2013 年度））に同様（同類）の助成金を受けることはできない。 4) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/ ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。 | 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学術集会組織委員長（ただし当財団の理事・監事・評議員・選考委員は申請できない） 2) 同一年度の同一学術集会に招へいする場合の申請は 1 件とする。 3) 招へい時期が下記の期間内であること。 <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">招へい時期</th> <th style="text-align: center;">申請区分</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2012 年 1 月 1 日～2012 年 6 月 30 日</td> <td style="text-align: center;">前期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2012 年 7 月 1 日～2012 年 12 月 31 日</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> </table> 4) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/ ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。 | 招へい時期 | 申請区分 | 2012 年 1 月 1 日～2012 年 6 月 30 日 | 前期 | 2012 年 7 月 1 日～2012 年 12 月 31 日 | 後期 | 1) 博士号を持つか、出発日までに取得見込みの研究者（出発日までに博士号取得見込みの大学院生は対象とする） 2) 学生として海外の大学・大学院への留学は対象外とする。 3) 1977 年 4 月 1 日以降に出生の者（満 34 歳以下） 4) 留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている者（受入先承諾書（サイン付）を添付する） 5) 2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日の間に出発し、1 年以上留学する者 留学先から一時帰国し、再度上記の期間に出発する者は対象にならない。 6) 当財団の選考委員（財団ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/ ）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。 | | | | | | |
| 招へい時期 | 申請区分 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2012 年 1 月 1 日～2012 年 6 月 30 日 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2012 年 7 月 1 日～2012 年 12 月 31 日 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | |
| 推 薦 者 | <p style="text-align: center;">※ 財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。</p> 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④⑤⑥以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 ただし、同一専攻の研究科（大学院）と学部（大学）の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者（※該当する研究機関には関連書類を送付しています） 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/ ） 4) 当財団の指定した学会の代表者（※該当学会には関連書類を送付しています） | | | | | | | | | | | | | | |
| 申請方法 | 推薦者が 1)、2)、4) の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。 | 3) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 （※3) の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い） | | | | | | | | | | | | | |
| 締 切 日 | 2011 年 6 月 1 日（水）（財団必着） | 前期：2011 年 6 月 1 日（水）、後期：2011 年 10 月 3 日（月） （いずれも財団必着） | 2011 年 10 月 3 日（月）（財団必着） | | | | | | | | | | | | |
| 選 考 方 法 | 選考委員会で審査し、理事会で決定する。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 採 択 件 数 | 採択件数：10 件以内 | 採択件数：前期・後期各 10 件以内（予算範囲内） | 採択件数：15 件以内 | | | | | | | | | | | | |
| 助 成 額 | 200 万円／年の 3 年間。 ただし、3 年目の助成については 2 年目迄の研究結果を評価して継続の可否を決定するため、2 年目迄の研究結果報告書を 2013 年 9 月末日までに送付する。 | <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">エリア</th> <th style="text-align: center;">助成額 (万円)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中東、アフリカ</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米国・カナダ（西海岸）、オーストラリア、ニュージーランド</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">東南アジア、インド</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中国、台湾、韓国</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </table> 前期：2011 年 12 月、後期：2012 年 3 月 | エリア | 助成額 (万円) | 中東、アフリカ | 80 | 米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ | 60 | 米国・カナダ（西海岸）、オーストラリア、ニュージーランド | 50 | 東南アジア、インド | 30 | 中国、台湾、韓国 | 20 | 100 万円 2012 年 3 月 |
| エリア | 助成額 (万円) | | | | | | | | | | | | | | |
| 中東、アフリカ | 80 | | | | | | | | | | | | | | |
| 米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ | 60 | | | | | | | | | | | | | | |
| 米国・カナダ（西海岸）、オーストラリア、ニュージーランド | 50 | | | | | | | | | | | | | | |
| 東南アジア、インド | 30 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中国、台湾、韓国 | 20 | | | | | | | | | | | | | | |
| 送 金 時 期 | 1 年目：2012 年 1 月 2 年目：2013 年 1 月 3 年目：2014 年 3 月 | | | | | | | | | | | | | | |
| 注 意 事 項 | 1) 出産日を証明する書類（母子手帳の写し又は出生証明書等）を添付する。 2) 旧姓を使用し、出生証明書と名前が異なる場合は同一人物である事を証明する書類を添付する。 | 1) 組織委員長及び招へい学者が明記されている書面（当該学術集会プログラム・サーキュラー等）を、申請書と共に必ず提出する。 2) 来日中止の場合について：招へい学者が来日中止の場合は助成を辞退していただきますので財団事務局へ必ず連絡下さい。 | 1) 受入先承諾書に必須記入項目（研究テーマ、留学受入年月日、留学期間、受入先責任者のサイン）が記載されていることを確認し、和訳を添付し提出する。 ※必須記入項目が一項目でも記載されていない場合は受付できません。 2) 留学中止または「申請者資格 5)」に記載の期間内に出発できなくなった場合は、助成を辞退していただきますので財団事務局へ必ず連絡下さい。 | | | | | | | | | | | | |
| 報 告 の 義 務 | 1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2 年目 2013 年 9 月末日、3 年目 2014 年 9 月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。 なお、別刷りを一部送付する。 | 1) スポンサーについて：当該学術集会で海外学者による招待講演が行われる場合は、プログラム等に当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、プログラム等を一部送付する。 2) 学会成果報告書及び使途報告書について：組織委員長は招へい終了 1 ヶ月以内に所定用紙にて必ず報告する。 | 1) 消息について：留学先に到着および帰国時に、住所及び E-mail アドレス等を必ず報告する。また、留学先が途中で変更になる場合には、速やかに報告する。 2) 研究成果報告書及び使途報告書について：帰国後 1 ヶ月以内に所定用紙にて報告する。研究成果報告書の内容については、事前に留学先に外部公表の了解を得ておく。 3) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部送付する。 | | | | | | | | | | | | |

2011年度 事業計画 (4)

| 第 11 回 内藤記念若手研究者海外派遣助成金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|---------|----------------------|---------|----|-------|--------------|------|----|--------------------|---------------|------|--------------------|-------|----------------|-------------------|----|-------|-------------------|------|----|-------|----|-----|
| 趣 旨 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う若手研究者が海外で行われる国際会議(学会・シンポジウム等)で、自己の成果を口頭発表する場合の渡航費を補助するものである。我が国の生命科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 申 請 者 資 格 | 1) 日本の大学、研究施設に籍をもつ研究者(大学院生を含む) 2) 1971年4月1日以降に出生の者(満40歳以下) 3) 日本国内で行った研究成果を海外で開催される国際学会やシンポジウムで口頭発表することが受けられた者 ポスター発表者は対象外とする。 なお、 ① 海外留学中または、海外で行った研究の発表には適応しない。 ② 年1回に限り申請することができる。 ③ 本助成金受領者は、隔年の申請はできるが次年度の申請はできない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推 薦 者 | ※ 財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、 ①②③以外の大学組織(研究センター、研究施設等)：学長 ただし、同一専攻の研究科(大学院)と学部(大学)の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注) センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 (※該当する研究機関には関連書類を送付しています) 3) 当財団の理事・監事及び評議員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/) <div style="text-align: center;">推薦件数：1 推薦者につき夏季・秋季・冬季・春季 各々1件</div> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 申 請 方 法 | 推薦者が1)、2)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 (※3)の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 締 切 日 | <div style="text-align: center;">学会の開催月により、年4回の受付を行う。</div> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">申請区分</th> <th style="padding: 5px;">学会等開催月</th> <th style="padding: 5px;">申請書受付期間 (期間中財団必着)</th> <th style="padding: 5px;">採否通知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">夏季</td> <td style="padding: 5px;">7月～9月</td> <td style="padding: 5px;">4月 1日～5月 20日</td> <td style="padding: 5px;">6月中旬</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">秋季</td> <td style="padding: 5px;">10月～12月</td> <td style="padding: 5px;">5月 21日～8月 22日</td> <td style="padding: 5px;">9月中旬</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">冬季</td> <td style="padding: 5px;">1月～3月</td> <td style="padding: 5px;">8月 23日～11月 21日</td> <td style="padding: 5px;">12月中旬</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">春季</td> <td style="padding: 5px;">4月～6月</td> <td style="padding: 5px;">11月 22日～2月 20日</td> <td style="padding: 5px;">3月上旬</td> </tr> </tbody> </table> | 申請区分 | 学会等開催月 | 申請書受付期間 (期間中財団必着) | 採否通知 | 夏季 | 7月～9月 | 4月 1日～5月 20日 | 6月中旬 | 秋季 | 10月～12月 | 5月 21日～8月 22日 | 9月中旬 | 冬季 | 1月～3月 | 8月 23日～11月 21日 | 12月中旬 | 春季 | 4月～6月 | 11月 22日～2月 20日 | 3月上旬 | | | | |
| 申請区分 | 学会等開催月 | 申請書受付期間 (期間中財団必着) | 採否通知 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏季 | 7月～9月 | 4月 1日～5月 20日 | 6月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 秋季 | 10月～12月 | 5月 21日～8月 22日 | 9月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬季 | 1月～3月 | 8月 23日～11月 21日 | 12月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 春季 | 4月～6月 | 11月 22日～2月 20日 | 3月上旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選 考 方 法 採 択 件 数 | <ul style="list-style-type: none"> ・選考担当理事、選考委員長で構成される審査会(年4回、6・9・12・3月開催)で選考し決定する。 ・各季とも年間予算の1/4以下でまかなうことができる件数 ・採否の結果は、上記の時期に申請者および推薦者に通知する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 助 成 時 額 送 金 期 | <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">渡航先</th> <th style="padding: 5px;">助成額(万円)</th> <th style="padding: 5px;">助成区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">中東・アフリカ</td> <td style="padding: 5px;">40</td> <td style="padding: 5px;">I</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ヨーロッパ各国、ブラジル</td> <td style="padding: 5px;">35</td> <td style="padding: 5px;">II</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">米国・カナダ(西海岸除く)、メキシコ</td> <td style="padding: 5px;">30</td> <td style="padding: 5px;">III</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">米国・カナダ西海岸、ニュージーランド</td> <td style="padding: 5px;">25</td> <td style="padding: 5px;">IV</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">東南アジア、インド、オーストラリア</td> <td style="padding: 5px;">20</td> <td style="padding: 5px;">V</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">東アジア(タイ、フィリピン、中国)</td> <td style="padding: 5px;">15</td> <td style="padding: 5px;">VI</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">韓国、台湾</td> <td style="padding: 5px;">10</td> <td style="padding: 5px;">VII</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">出発時期を勘案し送金する</div> | 渡航先 | 助成額(万円) | 助成区分 | 中東・アフリカ | 40 | I | ヨーロッパ各国、ブラジル | 35 | II | 米国・カナダ(西海岸除く)、メキシコ | 30 | III | 米国・カナダ西海岸、ニュージーランド | 25 | IV | 東南アジア、インド、オーストラリア | 20 | V | 東アジア(タイ、フィリピン、中国) | 15 | VI | 韓国、台湾 | 10 | VII |
| 渡航先 | 助成額(万円) | 助成区分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中東・アフリカ | 40 | I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヨーロッパ各国、ブラジル | 35 | II | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 米国・カナダ(西海岸除く)、メキシコ | 30 | III | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 米国・カナダ西海岸、ニュージーランド | 25 | IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東南アジア、インド、オーストラリア | 20 | V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東アジア(タイ、フィリピン、中国) | 15 | VI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 韓国、台湾 | 10 | VII | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注 意 事 項 | 1) プログラム、サーキュラー及び口頭発表採択証明を申請書と共に郵送する。 2) 口頭発表採択証明を後送の場合は、受付期間内必着。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 報 告 の 義 務 | 研究成果報告書及び使途報告書について： 帰国後1ヶ月以内に口頭発表を行った学術集会の概要と助成金使途内訳について所定用紙にて必ず報告する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

2011年度 事業計画 (5)

第 39 回(2011 年度)

内藤記念講演助成金申請要領

| 趣 旨 | 国際会議の開催において、四半期毎に申請を受理し、所定の選考を経て採否を決定する助成事業である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------------|--------|------|---------|----------------------|------|----|----------|-------------------|-------|----|-----------|--------------------|-------|----|----------|--------------------|--------|----|----------|---------------------|-------|
| 候 補 者 資 格 | <p>大学、研究機関に所属する者が主催する自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム、講演会)の開催責任者 国際会議とは、参加者総数が 50 名以上で、かつ参加国が日本を含む 2 カ国以上を占める会議をいう。</p> <p>なお、下記の申請者は対象外とする。</p> <p>① 国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会 ② 当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一のシンポジウム、講演会</p> <p>当財団の理事・監事・評議員及び選考委員に対する推薦は基本的に行わない。但し、助成金を個人のために使用しないことが明白な場合にはこの限りではない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推 薦 者 | <p>1) 当財団の理事・監事及び評議員 (自薦は対象としない) 2) 当財団の指定した学会の代表者 (※該当学会には関連書類を送付しています)</p> <p>推薦件数：1 推薦者につき年間 1 件</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 申 請 方 法 | <p>推薦者が 1) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 (財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い)</p> <p>2) の場合：申請者 ⇒ 学会事務 ⇒ 財団</p> <p>当財団ホームページ「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 締 切 日 | <p>国際会議の開催月により、年 4 回の受付を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請区分</th> <th>国際会議開催月</th> <th>申請書受付期間 (期間中財団必着)</th> <th>採否通知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>7 月～ 9 月</td> <td>4 月 1 日～ 5 月 20 日</td> <td>6 月中旬</td> </tr> <tr> <td>秋季</td> <td>10 月～12 月</td> <td>5 月 21 日～ 8 月 22 日</td> <td>9 月中旬</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1 月～ 3 月</td> <td>8 月 23 日～11 月 21 日</td> <td>12 月中旬</td> </tr> <tr> <td>春季</td> <td>4 月～ 6 月</td> <td>11 月 22 日～ 2 月 20 日</td> <td>3 月上旬</td> </tr> </tbody> </table> | | | 申請区分 | 国際会議開催月 | 申請書受付期間 (期間中財団必着) | 採否通知 | 夏季 | 7 月～ 9 月 | 4 月 1 日～ 5 月 20 日 | 6 月中旬 | 秋季 | 10 月～12 月 | 5 月 21 日～ 8 月 22 日 | 9 月中旬 | 冬季 | 1 月～ 3 月 | 8 月 23 日～11 月 21 日 | 12 月中旬 | 春季 | 4 月～ 6 月 | 11 月 22 日～ 2 月 20 日 | 3 月上旬 |
| 申請区分 | 国際会議開催月 | 申請書受付期間 (期間中財団必着) | 採否通知 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夏季 | 7 月～ 9 月 | 4 月 1 日～ 5 月 20 日 | 6 月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 秋季 | 10 月～12 月 | 5 月 21 日～ 8 月 22 日 | 9 月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冬季 | 1 月～ 3 月 | 8 月 23 日～11 月 21 日 | 12 月中旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 春季 | 4 月～ 6 月 | 11 月 22 日～ 2 月 20 日 | 3 月上旬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 選 考 方 法 採 択 件 数 | <p>常務理事、選考担当理事、選考委員長全ての承諾により採択する。 同一年度の同一学術集会への複数助成はしない。 採択件数は、予算枠の範囲内 採否の結果は、上記の時期に申請者および推薦者に通知する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 助 成 額 送 金 時 期 | <p>上限は 1 件 50 万円 当該国際会議の開催日を勘案し、送金する</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注 意 事 項 | <p>プログラム・アブストラクト等会議の概要が分かるものを 6 部添付すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 報 告 の 義 務 | <p>1) 成果報告及び使途報告書について：助成対象の行事終了後 1 ヶ月以内に概要を所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：当該学術集会のプログラム等に当財団 (英文：The Naito Foundation) の助成によるものであることを明記する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

2011年度 事業計画 (6)

第40回(2011年度) 内藤記念特定研究助成金

| | | | | | |
|--------------------|---|---|--------------------|---|----------------|
| 趣 旨 | 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、先導的なテーマに取り組む研究に対して助成を行う。 | | | | |
| コンファレンス名 | 第30回内藤コンファレンス | 第31回内藤コンファレンス | 第32回内藤コンファレンス | 第33回内藤コンファレンス | 第34回内藤コンファレンス |
| テ ー マ | 生体膜ダイナミクスと 脂質生物学〔Ⅱ〕：脂質ドメイン、 脂肪滴、疾患 | 糖鎖の発現と制御〔Ⅱ〕 ー代謝物、ストレス応答、 マイクロドメインと展望ー | こころの機能と疾患の分子機構 | 酸素生物学：酸素濃度に対する 生物応答とその制御破綻による疾患（仮題） | 感染・炎症・自己免疫（仮題） |
| 開 催 日 | 2011年6月28日～7月1日 | 2011年9月13日～9月16日 | 2011年10月18日～10月21日 | 検討中 | 検討中 |
| 開 催 場 所 | シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ | シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ | 八ヶ岳ロイヤルホテル | 検討中 | 検討中 |
| 申 請 者 資 格 | 当該コンファレンスに公募参加したポスター発表者 | | | 当該コンファレンスの組織委員 ただし財団の理事・監事・評議員・選考委員が組織委員に選任された場合は申請できない。 | |
| 選 考 方 法 | 組織委員会で審査し、理事会で決定する | | | 理事会で決定する | |
| 採 択 件 数 | 10件（総額500万円） | 10件（総額500万円） | 10件（総額500万円） | 5件（総額900万円） | 5件（総額900万円） |
| 助 成 金 の 期 送 金 時 | 2011年12月に送金する | 2012年3月に送金する | 2012年3月に送金する | 2011年7月に送金する | 2011年7月に送金する |
| 報 告 の 義 務 | 1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2013年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。 なお、別刷りを一部送付する。 | | | | |

